

施策評価シート

施策番号【4-2】

評価年度	令和3年度	事業実施年度	令和2年度	施策主管次長名	山田 浩 昭	
施策番号	4-2	施策名	まちのにぎわいや魅力を生み出そう		総合計画掲載頁	112~117
主担当部名	市民協働部					
関連課名	協働推進課、産業課、道路河川課					

1 総合計画の目標指標 PLAN & GOAL (中間値と最終目標値の確認)

取組分野	商業	R5 中間値	R10 目標値
指標名	商業に関する取り組みの市民満足度割合		
指標の定義	「商業」の取り組みに対する満足度割合(アンケート)	38%	40%
取組分野	観光・魅力発信	R5 中間値	R10 目標値
指標名	観光客数		
指標の定義	観光施設や観光的イベントの来訪者数の人数の合計	172,000人	172,500人
取組分野	地域活力	R5 中間値	R10 目標値
指標名	地区コミュニティ活動への参加者数		
指標の定義	各地区コミュニティ活動に参加した人数の合計	8,000人	9,000人
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			

2 成果指標 DO & REPLAN (実績を計上し計画値を再設定)

取組分野	商業	単位	R1実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5目標
指標①	成果指標名	「商工業活性化補助金」利用事業所数	30	114	70	35	35
	対象	事業者	指標設定の考え方 市内における商工業の活性化のため、事業者へ助成を行う。				
			把握方法 商工業活性化補助金の交付件数(商業)				

取組分野	観光・魅力発信	単位	R1実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5目標
指標②	成果指標名	みよし三大夏まつり等のポスター掲示箇所数	105	0	115	125	135
	対象	観客	指標設定の考え方 観光イメージの向上と定着を図るため、ポスターの掲示箇所を増加させていくことで、市内観光のPRを行う。				
			把握方法 三大夏まつり等ポスターの掲示箇所数の合計				

取組分野	地域活力	単位	R1実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5目標
指標③	成果指標名	地区コミュニティ推進協議会主催事業数	35	22	28	37	37
	対象	地区コミュニティ推進協議会	指標設定の考え方 地域の連帯意識醸成を図るため、市内8つの地区コミュニティ推進協議会に対して一括交付金を交付し、それぞれの自主的な事業企画・開催を支援する。				
			把握方法 地区コミュニティ推進協議会が主催した自主事業数				

取組分野		単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
指標④	成果指標名						
	対象		指標設定の考え方				
			把握方法				

取組分野		単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
指標⑤	成果指標名						
	対象		指標設定の考え方				
			把握方法				

3 施策の評価

ANALYSE & CHECK(分析・評価)

施策の分析 (現状の確認と近隣調査)					
施策の現状	<ul style="list-style-type: none"> 市内事業所の活性化支援として商工業活性化補助金事業を実施している。 三大夏まつりである「三好池まつり、みよしいじやんまつり、三好大提灯まつり」は夏の風物詩として定着してきた。 特産品である「柿・梨・ぶどう」を掲載した、みよし市産直マップを発行し、地産地消と本市の魅力を市内外に発信している。 25行政区と8地区コミュニティ推進協議会へ一括交付金を交付し、それぞれが実施する自主的な事業企画・開催を支援することで地域の連帯意識の醸成を図っている。 「みよし市地区拠点施設整備構想」に基づき、拠点施設を整備する。 				
成果向上に向けての市民と行政の役割分担	<table border="1"> <tr> <td>市民</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 事業者は地域社会の発展や市民生活の向上を果たす役割の重要性を理解し、店舗や事業の魅力づくりと拡大に努め、市民は地元店舗や事業所を積極的に利用するように努めます。 本市の魅力を再認識し、市内外に情報発信するとともに、自らもみよしに愛着を持ち、まつりやイベントに参加し交流を深めます。 まちづくりの主役であることを自覚し、地域政策の立案などに積極的に参画し、自らの発言や行動に責任を持ちます。 </td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 事業所のニーズを聞き取り、きめ細やかな支援を行う。 市民の交流やにぎわいが創出できる空間の整備を進め、人の動きに応じたまちづくり構想を策定する。 行政区や地区コミュニティ推進協議会、市民活動団体など、主体的・自発的にまちづくりに取り組む公益活動を行う団体等への支援を行うとともに、地区に適した地区拠点施設を整備し、地区間の公共施設の均衡を図る。 </td> </tr> </table>	市民	<ul style="list-style-type: none"> 事業者は地域社会の発展や市民生活の向上を果たす役割の重要性を理解し、店舗や事業の魅力づくりと拡大に努め、市民は地元店舗や事業所を積極的に利用するように努めます。 本市の魅力を再認識し、市内外に情報発信するとともに、自らもみよしに愛着を持ち、まつりやイベントに参加し交流を深めます。 まちづくりの主役であることを自覚し、地域政策の立案などに積極的に参画し、自らの発言や行動に責任を持ちます。 	行政	<ul style="list-style-type: none"> 事業所のニーズを聞き取り、きめ細やかな支援を行う。 市民の交流やにぎわいが創出できる空間の整備を進め、人の動きに応じたまちづくり構想を策定する。 行政区や地区コミュニティ推進協議会、市民活動団体など、主体的・自発的にまちづくりに取り組む公益活動を行う団体等への支援を行うとともに、地区に適した地区拠点施設を整備し、地区間の公共施設の均衡を図る。
市民	<ul style="list-style-type: none"> 事業者は地域社会の発展や市民生活の向上を果たす役割の重要性を理解し、店舗や事業の魅力づくりと拡大に努め、市民は地元店舗や事業所を積極的に利用するように努めます。 本市の魅力を再認識し、市内外に情報発信するとともに、自らもみよしに愛着を持ち、まつりやイベントに参加し交流を深めます。 まちづくりの主役であることを自覚し、地域政策の立案などに積極的に参画し、自らの発言や行動に責任を持ちます。 				
行政	<ul style="list-style-type: none"> 事業所のニーズを聞き取り、きめ細やかな支援を行う。 市民の交流やにぎわいが創出できる空間の整備を進め、人の動きに応じたまちづくり構想を策定する。 行政区や地区コミュニティ推進協議会、市民活動団体など、主体的・自発的にまちづくりに取り組む公益活動を行う団体等への支援を行うとともに、地区に適した地区拠点施設を整備し、地区間の公共施設の均衡を図る。 				
近隣市町との比較	<ul style="list-style-type: none"> 指標①は他市に同様な補助がないため、指標②は他市は揭示個所のデータを持っていないため比較できない。 指標③は、人口規模が違うため比較が難しい。 令和2年度の近隣市町での大規模なお祭りは本市のお祭りと同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止となっており比較できない。本年度も一部の近隣市町において、お祭りイベントの中止もしくは冬季への延長が発表されている。 				

施策の評価 (活動の振り返りと課題の明確化)	
令和元年度以前の活動	<ul style="list-style-type: none"> 三大夏まつり「三好池まつり、三好いじやんまつり、三好大提灯まつり」の実施。 商工業者への商工業活性化補助金を活用した支援。 西三河地域スタンプラリーの実施。 一括交付金実績(R1) 25行政区:58,561,300円 8地区コミュニティ推進協議会:3,050,000円 平成28年2月、「みよし市地区拠点施設整備構想」を策定。 平成30年6月、(仮称)きたよし地区拠点施設建設工事を着工。 令和元年8月23日、「おかよし交流センター」開館。(開館記念式典開催)
令和2年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 三大夏まつり「三好池まつり、三好いじやんまつり、三好大提灯まつり」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 商工業活性化補助金のメニューに、新型コロナウイルスなどへの感染防止を目的とした「飛沫防止・室内換気・除菌防菌対策の整備事業」を追加し緊急支援を実施。 市制施行10周年記念のプレミアム付商品券をプレミアム度を増やして、プレミアム付き食事券(商工会への補助)を新規で発行し市内の商店、飲食店への支援を実施。 一括交付金実績(R2) 25行政区:58,407,400円 8地区コミュニティ推進協議会:2,645,000円 新型コロナウイルス感染症の影響により、行政区などのイベントが中止や規模縮小となる中、一括交付金を有効に活用してもらうため使途の緩和を図った。 (仮称)みなよし交流センター建設に向けて本格的な準備を開始。 みなよし地域の方から意見を聞くためのワークショップを2回開催。(10月11日、11月29日)
積み残し課題等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による影響への対応策が求められる。 三大夏まつりの開催方法や、市外からの積極的な観光客の誘客を促進するため、観光情報発信力の強化。 商工業活性化補助の支援策について、情報が届きにくい点もあることから、企業訪問に努める必要がある。 小学校区ごとのコミュニティのスケールメリットを生かして、行政区との事業バランスを考慮し、どの事業がコミュニティ活動としてメリットがあるかの検討や選択が課題となる。 平成31年3月に策定した第2次みよし市総合計画の中で、市域を「おかよし地域」、「きたよし地域」、「なかよし地域」、「みなよし地域」の4地域に区分することとなったため、地区拠点施設についても将来的には4ヶ所目を検討する必要がある。

4 活動計画

ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

令和3年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染防止対策や人流にも配慮したうえでの施策を推進していく必要がある 観光資源を活用し、本市の魅力向上と観光情報を発信するとともに、観光客の増加を目指す。 中心市街地基本構想に基づく中心市街地のにぎわいの創出を図る。 三好ヶ丘駅周辺についてカリヨンハウスを核として、市の北の玄関口にふさわしいにぎわいづくりを進める。 事業者自らが取り組むまちの活性化や既存商店の魅力づくりに対して、市として積極的に支援する。 西三河地域スタンプラリーの実施。 行政区や地区コミュニティ推進協議会に対し、新型コロナウイルス感染症対策に即した支援を行っていく。 行政区事業と地区コミュニティ事業との連携を推進し、より効果的な事業の開催を支援していく。 「みよし市地区拠点施設整備構想」に基づき、市内2番目となるみなよし地区の拠点施設整備を推進していく。
施策目標達成に向けての令和3年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> いちよし、によし、さんよし、みよし!笑顔がいいじやん!!プレミアム商品券・食事券発行事業の実施。 商工業活性化補助金の感染防止メニューにキャッシュレス決済の初期導入経費を追加する等、コロナ禍における経営維持を含み、総合的に商工業者を支援していく。 三大夏まつりの開催の是非、また開催する場合の感染防止対策の具体的方法を各実行委員会等で検討する必要がある。 一括交付金を交付する 25行政区:60,376千円 8地区コミュニティ推進協議会:3,050千円 新型コロナウイルス感染症の影響による、一括交付金の使途緩和を継続する。 (仮称)みなよし地区拠点施設の整備に向けて、基本設計を実施する。 地区拠点施設整備協議会を3回開催し協議会の意見や、昨年度開催したワークショップの意見を基本設計に盛り込む。